

袋井市幼保小の架け橋期のカリキュラム

- 袋井市の重点と育ってほしい子どもの姿
- 袋井市 幼保小の架け橋期のカリキュラム
- 周南たちばな学園 幼保小の架け橋期のカリキュラム
- 袋井あやぐも学園 幼保小の架け橋期のカリキュラム
- 南の丘学園 幼保小の架け橋期のカリキュラム
- 浅羽学園 幼保小の架け橋期のカリキュラム



袋井市の重点と育ってほしい子どもの姿

「袋井市幼保小の架け橋期のレインボープロジェクト」

袋井市では「自立力」と「社会力」を備え「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す15歳」を幼小中一貫教育をとおして育成しています。

その中で、学びに向かう意欲の向上、学力の向上、早い段階でのつまずきの解消のために、就学前教育・幼小接続プログラムを作成し、「経験を通して発見したり考えたりできる」ことを重点として、幼児期からの円滑な接続に努めてきました。

新たに、レインボープロジェクトを進めるにあたり、5歳児から小学校1年生にかけての架け橋期は、これまで以上に一人ひとりの子どもの個性や意欲を尊重し、子どもの思考を促すことや、多様な考えに触れ、豊かな経験を積ませることが大切です。

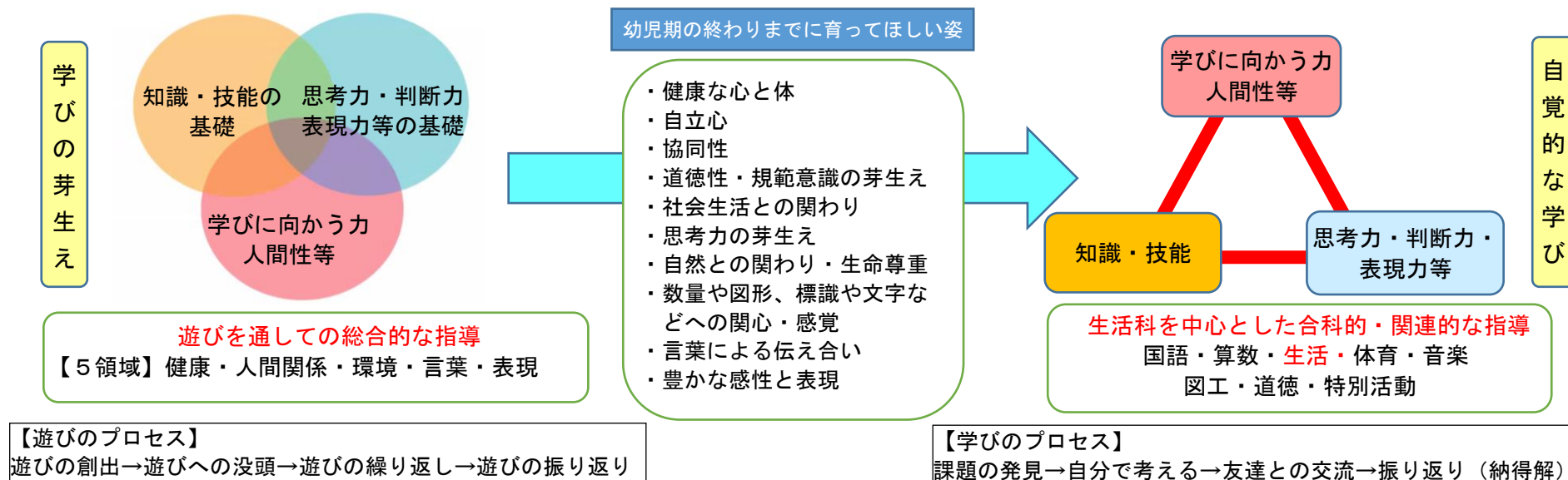
そこで、架け橋期の重点を「試したり、考えたり、伝え合ったりする」とし、公立・私立、幼保こども園・学校の種別を問わず、子どもに関わる大人が連携・協働しながら思考力・判断力・表現力等を育みます。

架け橋期の重点

試したり、考えたり、伝え合ったりする

ステージにおいて育ってほしい子どもの姿

		5歳児（年長）				小学校1年生			
月		4月～5月	6月～8月	9月～12月	1月～3月	4月～5月	6月～8月	9月～12月	1月～3月
ステージ		I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
自立力	知識及び技能の基礎	年長になった喜びと意欲をもって生活する	気持ちよく生活するために必要なことに気づき、自分で取り組む		就学に期待をもち、自信をもって生活する	小学校の生活のルールや学習の仕方を理解し、楽しく生活する	生活のリズムを身に付け、学習や活動に取り組む	様々な活動や人々に関心をもち、関わることのよさや楽しさが分かる	大きくなったこと、できるようになったことなど、自分の成長に気付く
	思考力・判断力・表現力等の基礎	考えたり、試したりして友達と遊ぶことを楽しむ	好奇心や探究心をもち、身近な事象に関わる		目的に向かって、実現するための方法を考え工夫して遊ぶ	小学校の学習や活動に取り組む中で、気づいたことを発表する	友達と考えや気持ちを話し合ったり聞き合ったりする	自分の思いを話したり書いたりして表現する	考えや気持ちを多様な方法で伝え合ったり、振り返ったりする
社会力	学びに向かう力・人間性等	体験を積み重ね、物事にじっくり取り組む		友達の良さに気づき、関わりを広げる	友達と協力してやり遂げる楽しさを味わう	自分でできることや新たな活動に、進んで取り組もうとする	学習や生活の目標に向かって、進んで自分の力を発揮しようとする	友達と互いに励まし合いながら、主体的に学習や活動に取り組もうとする	成長を確認し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする



袋井市幼保小の架け橋期のカリキュラム 架け橋期の重点「試したり、考えたり、伝え合ったりする」

ア プ ロ ー チ カ リ キ ュ ラ ム (5 歳 児)

ア プ ロ ー チ カ リ キ ュ ラ ム (5 歳 児)														
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ステージ		Ⅰ		Ⅱ			Ⅲ				Ⅳ			
育 っ 児 て の ほ し い 姿	知識及び技能の基礎	年長になった喜びと意欲をもって生活する			気持ちよく生活するために必要なことに気づき、自分で取り組む							就学に期待をもち、自信をもって生活する		
	思考力・判断力・表現力等の基礎	考えたり、試したりして友達と遊ぶことを楽しむ			好奇心や探究心をもって身近な事象に自分から関わる			目的に向かって、実現するための方法を考えて工夫して遊ぶ						
	学びに向かう力・人間性等	友達と体験を積み重ね、物事にじっくり取り組む					友達と共に遊ぶ良さを味わい、関わりを広げる				友達と意欲的に遊びに取り組み、協力してやり遂げる楽しさを味わう			
育 み た い 資 質 ・ 能 力	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	(健康) 健康な心と体 (思考) 思考力の芽生え			(自立) 自立心 (自然) 自然との関わり・生命尊重			(協同) 協同性 (数量) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚				(道徳) 道徳性・規範意識の芽生え (言葉) 言葉による伝え合い		(社会) 社会生活との関わり (表現) 豊かな感性と表現
	知識及び技能の基礎	・身の回りを整える必要性が分かり自ら取り組む。(健康・自立) ・相手の立場に立って、考えて行動する。(道徳・社会)			・積極的に身体を動かし、様々な活動に取り組む。(健康・自立) ・きまりの必要性が分かり、守ったり考え合ったりする。(自立・道徳・社会) ・絵本や物語に親しみ、言葉のもつ意味やおもしろさなどに気付く。(言葉)							・時間や活動を意識しながら見通しをもって生活を進める。(健康・自立・道徳・社会) ・自分のよさに気づき、自信をもって行動する。(自立)		
	思考力・判断力・表現力等の基礎	・身近な事象に積極的に関わり、自ら気付いたり発見を楽しんだりする。(思考・自然・数量) ・自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いや考えを聞いたりする。(思考・言葉)			・感じたことや考えたことを様々な方法で表現することを楽しむ。(表現・言葉・思考) ・予想をしたり確かめたりして事象への関わりを楽しむ。(思考・自然・数量・表現)			・共通の目的に向かって考え、工夫したり協力したりする。(協同・思考・言葉) ・自分の体験や友達の考えを生かして、自分の考えを広げて楽しむ。(思考・言葉) ・自分の思いや考えを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の話を理解して行動したりする。(言葉・表現・思考・自立) ・友達と相談しながら工夫し合って表現する過程を楽しむ。(表現・言葉・協同・思考)						
	学びに向かう力・人間性等	・興味や関心をもって試行錯誤しながら遊びを楽しむ。(自立・思考) ・身近な動植物に触れ、命を大切にしようとする。(自然・道徳) ・生活の中にある図形や数量に触れたり親しんだりして、興味・関心を高める。(数量・思考) ・友達との関わりの中で、役割を受け持って遊ぶことを楽しむ。(協同)					・様々なことに繰り返し取り組み、諦めずにやり遂げる達成感を味わう。(自立) ・いろいろな人と触れ合い関わる中で、地域の人に親しみをもつ。(社会) ・身近な自然に触れ、不思議に感じたことを試したり調べたりして関心を高める。(自然・思考・表現)				・互いの思いや考えを認め合い、友達と遊びを進めることを楽しむ。(協同・言葉・社会) ・自分の気持ちに折り合いをつけながら生活しようとする。(道徳) ・場や状況を考えて行動しようとする。(社会・道徳) ・身近にある文字や数などに興味・関心をもち、生活に取り入れようとする。(数量)			

袋井市幼保小の架け橋期のカリキュラム 架け橋期の重点「試したり、考えたり、伝え合ったりする」

		スタートカリキュラム(1年生)												
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ステージ		Ⅴ		Ⅵ			Ⅶ				Ⅷ			
育 児 童 の ほ い し い 姿	知識及び技能	小学校の生活のルールや学習の仕方を理解し、楽しく生活する		生活のリズムを身につけ、見通しをもって学習や活動に取り組む			様々な活動や人々に関心をもち、関わることのよさや楽しさが分かる				大きくなったこと、できるようになったことなど、自分の成長に気付く			
	思考力・判断力・表現力等	小学校の学習や活動に取り組む中で、気付いたことを発表する		友達と考えや気持ちを話し合ったり聞き合ったりする			自分の思いを話したり書いたりして表現する				考えや気持ちを多様な方法で伝え合ったり、振り返ったりする			
	学びに向かう力・人間性等	自分でできることや新たな活動に、進んで取り組もうとする		学習や生活の目標に向かって、進んで自分の力を発揮しようとする			友達と互いに励まし合いながら、主体的に学習や活動に取り組もうとする				成長を確認し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする			
育 成 を 目 指 す 資 質 ・ 能 力	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	(健康) 健康な心と体 (思考) 思考力の芽生え		(自立) 自立心 (自然) 自然との関わり・生命尊重			(協同) 協同性 (数量) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚				(道徳) 道徳性・規範意識の芽生え (言葉) 言葉による伝え合い			(社会) 社会生活との関わり (表現) 豊かな感性と表現
	知識及び技能	・小学校の生活の流れを知り、安全に過ごす。(健康・自立) ・楽しく生活するために大切なルールを理解する。(自立・道徳・社会) ・身の回りの整頓や活動の準備・片付けなどに自分から取り組む。(自立) ・ひらがなや10までの数を理解し、読んだり書いたり、数えたりする。(数量)		・生活のリズムを身に付け、ルールやマナーを守って健康で安全に過ごす。(健康・自立・道徳・社会) ・係や当番活動などの学級の仕事を進んで行う。(自立・協同) ・植物の栽培を通して、生命をもっていることや成長に気付く。(自然)			・めあてに向かって進んで体を動かして運動し、元気に生活する。(健康・自立) ・正しいと思ったことは勇気をもって行動する。(自立・道徳) ・地域の場所や自然、人々に親しみをもち、適切に接する。(社会・自然) ・自然の様子や季節の変化を知り、生活の様子が変わることに気付く。(自然) ・かたかなや漢字に興味を持ち、使い方を知ったり、書いたり読んだりする。(数量)				・手洗いやうがいを丁寧に行い、病気に負けない体づくりをする。(健康・自立) ・伝え合いを通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かる。(道徳・言葉・表現) ・1年間を振り返り、できるようになったこと、役割が増えたことを実感する。(健康・自立・社会)			
	思考力・判断力・表現力等	・新しい学習に興味や関心をもち、進んで考える。(思考・数量) ・分かったことや見つけたこと、感じたことを友達に伝える。(思考・言葉・表現)		・自分の思いや考えを、理由を添えて友達と伝え合う。(思考・言葉・表現) ・具体物を使って数量を比べたり、簡単なたし算・引き算をしたりする。(思考・数量) ・見たことやしたこと、感じたことを造形等で表現し、伝え合う。(思考・表現)			・自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて伝え方を選ぶ。(思考・言葉・表現) ・「学習課題の確認」「自分で考える」「友達と交流」「まとめと振り返り」という学習サイクルで学びを深める。(思考・言葉・表現) ・伝えたいことをグループで話し合ったり文章で表現したりする。(思考・言葉・表現)				・「比べる」「並べる」「分ける」などの思考スキルを身に付けて自分の考えを深める。(自立・思考) ・数量の関係する場面を図で考え、式や言葉で表して解決する。(思考・数量・言葉) ・自分と友達の考えを比べ、賛成・反対など自分の考えをはっきりさせ、その理由を説明する。(協同・思考・言葉) ・新しい1年生に、様々な方法で学校のことを分かりやすく工夫しながら伝える。(協同・社会・思考・言葉・表現)			
	学びに向かう力・人間性等	・新たな友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを味わう。(自立・協同・社会) ・友達や先生に挨拶したり、親しみをもって関わろうとする。(自立・協同・社会)		・自分のめあてを考え、達成に向けて努力をしようとする。(自立) ・音楽や図工などの表現をとおして、自分の思いを表現する喜びを味わう。(表現)			・地域で出会う様々な出来事や人に興味をもち、進んで関わろうとする。(自立・社会) ・学習や活動のめあてに向かって、友達と協力しながら活動しようとする。(自立・協同) ・学習したことや経験したことを生かして生活しようとする。(自立・数量)				・友達と意見を交わし、新しい考えや活動を協力して生み出そうとする。(自立・協同・言葉) ・家族や地域の人々、友達などに支えられて成長したことに感謝し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする。(健康・自立・社会)			

アプローチカリキュラム（５歳児）

袋井市架け橋期の重点【試したり、考えたり、伝え合ったりする】 学園が目指すこども像(育てたい資質・能力)【他者と協働する 主体的に行動する 自他を理解する】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ステージ		Ⅰ		Ⅱ			Ⅲ				Ⅳ		
育 っ て ほ い し い 児 童 の 姿	知識及び技能の基礎	年長になった喜びと意欲をもって生活する		気持ちよく生活するために必要なことに気づき、自分で取り組む							就学に期待をもち、自信をもって生活する		
	思考力・判断力・表現力等の基礎	考えたり、試したりして友達と遊ぶことを楽しむ		好奇心や探究心をもって身近な事象に自分から関わる			目的に向かって、実現するための方法を考えて工夫して遊ぶ						
	学びに向かう力・人間性等	友達と体験を積み重ね、物事にじっくり取り組む			友達と共に遊ぶ良さを味わい、関わりを広げる				友達と意欲的に遊びに取り組み、協力してやり遂げる楽しさを味わう				
育 み た い 資 質 ・ 能 力	知識及び技能の基礎	身の回りを整える必要性が分かり自ら取り組む。(健康・自立)		積極的に身体を動かし、様々な活動に取り組む。(健康・自立)							時間や活動を意識しながら見通しをもって生活を進める。(健康・自立・道徳・社会)		
		相手の立場に立って、考えて行動する。(道徳・社会)			きまりの必要性が分かり、守ったり考え合ったりする。(自立・道徳・社会)				自分のよさに気づき、自信をもって行動する。(自立)				
		絵本や物語に親しみ、言葉のもつ意味やおもしろさなどに気付く。(言葉)											
	思考力・判断力・表現力等の基礎	身近な事象に積極的に関わり、自ら気付いたり発見を楽しんだりする。(思考・自然・数量)		感じたことや考えたことを様々な方法で表現することを楽しむ。(表現・言葉・思考)			共通の目的に向かって考え、工夫したり協力したりする。(協同・思考・言葉)						
		自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いや考えを聞いたりする。(思考・言葉)		予想をしたり確かめたりして事象への関わりを楽しむ。(思考・自然・数量・表現)			自分の体験や友達の考えを生かして、自分の考えを広げて楽しむ。(思考・言葉)						
							自分の思いや考えを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の話を理解して行動したりする。(言葉・表現・思考・自立)						
							友達と相談しながら工夫し合って表現する過程を楽しむ。(表現・言葉・協同・思考)						
	学びに向かう力・人間性等	興味や関心をもって試行錯誤しながら遊びを楽しむ。(自立・思考)			様々なことに繰り返し取り組み、諦めずにやり遂げる達成感を味わう。(自立)				互いの思いや考えを認め合い、友達と遊びを進めることを楽しむ。(協同・言葉・社会)				
		身近な動植物に触れ、命を大切にしようとする。(自然・道徳)			いろいろな人と触れ合い関わる中で、地域の人に親しみをもつ。(社会)				自分の気持ちに折り合いをつけながら生活しようとする。(道徳)				
		生活の中にある図形や数量に触れたり親しんだりして、興味・関心を高める。(数量・思考)							場や状況を考えて行動しようとする。(社会・道徳)				
		友達との関わりの中で、役割を受け持って遊ぶことを楽しむ。(協同)			身近な自然に触れ、不思議に感じたことを試したり調べたりして関心を高める。(自然・思考・表現)								
					身近にある文字や数などに興味・関心をもち、生活に取り入れようとする。(数量)								

《 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 》	(健康) 健康な心と体	(自立) 自立心	(協同) 協同性	(道徳) 道徳性・規範意識の芽生え	(社会) 社会生活との関わり
	(思考) 思考力の芽生え	(自然) 自然との関わり・生命尊重	(数量) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	(言葉) 言葉による伝え合い	(表現) 豊かな感性と表現

指導上の配慮事項	☆環境構成の工夫	☆やってみたい気持ちの実現していくような環境を構成する。 ☆文字や数字、記号など生活の中で身近に感じられるようにする。(当番表・片付け明示・誕生表等)	☆自分たちで考え、やってみたいと思えるような場を多く設定しその中で自分の力を十分発揮できるようにする。 ☆不思議に感じたことを共感し、調べて分かる楽しさを感じられる場をつくる。(図鑑や絵本・ICT活用等) ○知っている知識や情報を活かし、関心を継続できるようにする。 ○意見のぶつかり合いや葛藤を大切にしてい。自分で乗り越えられるように見守ったり気持ちを支えたりする。	☆挑戦しようとする気持ちを受け止めた環境を構成する。 ☆グループでの取り組みの中で、一人一人が自己を発揮し、互いの良さや考えにふれて、協同して遊べるような機会を意図的に設ける。 ☆難しいことに向き合い、友達と一緒に工夫して乗り越えていく場をつくっていく。 ○目的が明確にもてるようにする。一人一人の頑張りをクラスの子どもに知らせ、良さに気付かせたり頑張りを喜び合ったりする。 ○関わりの中で互いの思いを理解できるように相手の言葉や表情、行動に関心を向けられるようにする。	☆一人一人が興味をもって、1日や週の見通しが分かって行動できるような表示を工夫する。 ☆友達と一緒に力を合わせて取り組んできたことや目的が達成されたことへの喜びが味わえるような生活をつくる。 ○自分たちで生活を進めている充実感が味わえるようにする。 ○共通の目的に向かって意見や考えを出し合うことができるようになる。
	○保育者のかわり	○進級した喜びを十分に味わわせ、自信をもって行動できるようにする。 ○生活の中で気付いたことをきっかけとして、自分たちで約束等をつくり出せるようにする。			
	家庭との連携	・進級に対する不安への対応を図る。 ・1年間の見通しを知らせたり、面談で保護者の願いを聞いたりする。	・自分の力で生活を進める大切さを伝え、励ます、見守るなどの連携を図る。 ・子ども同士で起こった出来事については丁寧に伝え、関わりの中での学びを知らせて理解につなげる。	・遊びを通して様々な意欲が引き出されることを伝える。 ・友達との活動を通して協同性が育まれ小学校生活や学習の基盤となることを伝えていく。	・就学に向けて生活習慣を園と家庭で見直し、身に付けられるような生活を促す。 ・懇談会や入学説明会で、スタートカリキュラムの説明を行い、入学に向けて不安や疑問を解消できるようにする。



周南たちばな学園 幼保小の架け橋期のカリキュラム

学園教育目標 【夢を見出し、未来をひらく子ども】

学園の重点

袋井市の重点

スタートカリキュラム(1年生)

袋井市架け橋期の重点【**試したり、考えたり、伝え合ったりする**】 学園が目指すこども像(育てたい資質・能力)【**他者と協働する 主体的に行動する 自他を理解する**】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ステージ		Ⅴ		Ⅵ		Ⅶ		Ⅷ		Ⅷ			
育 っ て ほ い い 児 童 の 姿	知識及び技能	小学校の生活のルールや学習の仕方を理解し、楽しく生活する		生活のリズムを身につけ、見通しをもって学習や活動に取り組む		様々な活動や人々に関心をもち、関わることのよさや楽しさが分かる				大きくなったこと、できるようになったことなど、自分の成長に気付く			
	思考力・判断力・表現力等	小学校の学習や活動に取り組む中で、気付いたことを発表する		友達と考えや気持ちを話し合ったり聞き合ったりする		自分の思いを話したり書いたりして表現する				考えや気持ちを多様な方法で伝え合ったり、振り返ったりする			
	学びに向かう力・人間性等	自分でできることや新たな活動に、進んで取り組もうとする		学習や生活の目標に向かって、進んで自分の力を発揮しようとする		友達と互いに励まし合いながら、主体的に学習や活動に取り組もうとする				成長を確認し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする			
育 成 を 目 指 す 資 質 ・ 能 力	知識及び技能	小学校の生活の流れを知り、安全に過ごす。(健康・自立)		めあてに向かって進んで体を動かして運動し、元気に生活する。(健康・自立)				手洗いやうがいや丁寧に行い、病気に負けない体づくりをする。(健康・自立)					
		楽しく生活するために大切なルールを理解する。(自立・道徳・社会)		生活のリズムを身につけ、ルールやマナーを守って健康で安全に過ごす。(健康・自立・道徳・社会)				正しいと思ったことは勇気をもって行動する。(自立・道徳)					
		身の回りの整頓や活動の準備・片付けなどに自分から取り組む。(自立)		係や当番活動などの学級の仕事を進んで行う。(自立・協同)				1年間を振り返り、できるようになったこと、役割が増えたことを実感する。(健康・自立・社会)					
		ひらがなや10までの数を理解し、読んだり書いたり、数えたりする。(数量)		かたかなや漢字に興味を持ち、使い方を知ったり、書いたり読んだりする。(数量)				伝え合いを通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かる。(道徳・言葉・表現)					
						地域の場所や自然、人々に親しみをもち、適切に接する。(社会・自然)							
		植物の栽培を通して、生命をもっていることや成長に気付く。(自然)				自然の様子や季節の変化を知り、生活の様子が変わること気付く。(自然)							
	思考力・判断力・表現力等			見たことやしたこと、感じたことを造形等で表現し、伝え合う。(思考・表現)		自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて伝え方を選ぶ。(思考・言葉・表現)		「比べる」「並べる」「分ける」などの思考スキルを身に付けて自分の考えを深める。(自立・思考)					
		新しい学習に興味や関心をもち、進んで考える。(思考・数量)		具体物を使って数量を比べたり、簡単なたし算・ひき算をしたりする。(思考・数量)		「学習課題の確認」「自分で考える」「友達と交流」「まとめと振り返り」という学習サイクルで学びを深める。(思考・言葉・表現)		数量の関係する場面を図で考え、式や言葉で表して解決する。(思考・数量・言葉)					
		分かったことや見つけたこと、感じたことを友達に伝える。(思考・言葉・表現)		自分の思いや考えを、理由を添えて友達と伝え合う。(思考・言葉・表現)		伝えたいことをグループで話し合ったり文章で表現したりする。(思考・言葉・表現)		自分と友達の考えを比べ、賛成・反対など自分の考えをはっきりさせ、その理由を説明する。(協同・思考・言葉)					
								新しい1年生に、様々な方法で学校のことを分かりやすく工夫しながら伝える。(協同・社会・思考・言葉・表現)					
	学びに向かう力・人間性等	新たな友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを味わう。(自立・協同・社会)				地域で出会う様々な出来事や人に興味をもち、進んで関わろうとする。(自立・社会)							
				自分のめあてを考え、達成に向けて努力をしようとする。(自立)		学習や活動のめあてに向かって、友達と協力しながら活動しようとする。(自立・協同)				友達と意見を交わし、新しい考えや活動を協力して生み出そうとする。(自立・協同・言葉)			
		友達や先生に挨拶したり、親しみをもって関わろうとする。(自立・協同・社会)		音楽や図工などの表現を通して、自分の思いを表現する喜びを味わう。(表現)		学習したことや経験したことを生かして生活しようとする。(自立・数量)				家族や地域の人々、友達などに支えられて成長したことに感謝し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする。(健康・自立・社会)			

《 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 》		(健康) 健康な心と体 (思考) 思考力の芽生え	(自立) 自立心 (自然) 自然との関わり・生命尊重	(協同) 協同性 (数量) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	(道徳) 道徳性・規範意識の芽生え (言葉) 言葉による伝え合い	(社会) 社会生活との関わり (表現) 豊かな感性と表現
指導上の 配慮事項	・15分単位の短い時間や2時間続きの活動を取り入れ、次第に45分間の学習時間に慣れていけるように、柔軟な時間設定を実施する。 ・児童が親しんできた園での生活リズムに配慮し、自由遊びができる裁量の時間を確保する。 ・出身園から少人数で入学した児童が安心して生活できるように、友達と一緒に活動を楽しむ時間を設ける。 ・生活科の学習を中心に、国語科・算数科・音楽科・図工科などの各教科を統合的に関連づけた学習を進め、互いの学習で得た学びが生かされる活動を計画する。 ・進学した喜びを十分に味わわせ、目標をもって自分から行動できるようにする。 ・各学年の児童や教職員が関わり、学校全体で1年生を見守っていく体制をつくる。 ・日課やきまりについて、視覚に訴える掲示物を工夫することで、新しい環境に早く適応できるようにする。	・挨拶や声かけを大切にし、習慣化させることで、進んで友達と関わる学級づくりをすすめていく。 ・意見のぶつかり合いや互いに折り合いをつける経験を関わりの中での学びにつなげられるようにする。 ・係や当番活動などの学級の仕事を任せ、よい表れを認め、次への意欲を高める。 ・児童の関心や疑問を大切にして学習課題を設定し、学習活動に臨ませる。 ・各教科の学習では、体験的な活動や半具体物操作などを取り入れることで、児童の経験を生かした分かりやすい授業で、学習意欲を高める。 ・ICTを効果的に活用し、自分なりの考えをもち、伝え合うことができるようにする。 ・活動後にはふり返りの時間を確保する。	・「学習課題の確認」「自分で考える」「ペアやグループ、クラス全体での交流」「まとめとふりかえり」という学習サイクルを身につける。 ・課題解決を助ける思考ツールを段階的に取り入れる。 ・運動会や交流会などの行事への取組の中で、子どもの挑戦しようとする気持ちを受け止めて支援し、達成感を味わわせて自信をもたせる。 ・少し難しいことにも向き合い、友達と協力して工夫し、乗り越えられるようにする。 ・関わりの中で、互いの思いを理解し尊重できるように、相手の言葉や表情、行動から考えられるように指導・支援する。 ・一人一人の頑張りを認め、互いに伝え合う場を設定する。 ・園児との交流では、自分たちが経験したことを生かし、活動を考えたり実行したりできるようにする。	・「くらべる」「ならべる」「りゆう・わけ」「分ける」などの思考スキルを身につけて自分の考えを深めさせる。 ・一人一人が週や一日の見通しをもって、自分で行動できるような表示をする。 ・友達と力を合わせて取り組んできたことや、目的が達成されたことに対する喜びが感じられるような活動や環境の工夫をする。 ・児童が1年間の自分の成長に気付き、自分のよさを実感できるように、児童の作品やカード、写真などを用意する。 ・自分たちの成長を支えてくれた6年生や見守り・学習のボランティアへの感謝の気持ちを伝える活動を考えさせる。 ・新1年生を迎える準備をととして、進級への喜びや自覚をもたせる。		
家庭との 連携	・授業参観等で、スタートカリキュラムによる学び・生活の様子を見てもらう。 ・1週間ごとに学年通信で学習の予定や児童の様子を伝え、保護者が学校生活の見通しを持ち、安心できるようにする。 ・個別面談等で、保護者の願いを聞いたり児童の様子を伝えたりする。	・自分で生活を進めることの大切さを伝え、励ます、見守るなどの連携を図る。 ・子ども間で起こった出来事について丁寧に受け止め、関わりの中での学びであることを知らせ、理解につなげる。 ・家庭学習のねらいや方法について学年通信で丁寧に伝え、見届けや励ましへの協力を依頼する。	・学習や生活面、行事での児童の様子や頑張りを家庭学習カードや学年通信で伝え、家庭でもしっかり褒めてもらうようにする。 ・自分でできる家でのを見つけ、継続してお手伝いに取り組めるように協力をお願いする。	・懇談会等で児童の成長を伝え、家庭でもしっかりほめてもらう。 ・持ち帰った学習の成果物を見て、賞賛の言葉をかけてもらう。		

袋井あやぐも学園

幼保小の架け橋期のカリキュラム

学園教育目標：夢を追い続ける子供の育成

ア プ ロ ー チ カ リ キ ュ ラ ム (5 歳 児)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ステージ		Ⅰ			Ⅱ			Ⅲ			Ⅳ				
育 っ て ほ い し い 幼	知識及び技能の基礎	年長になった喜びと意欲をもって生活する			気持ちよく生活するために必要なことに気付き、自分で取り組む						就学に期待をもち、自信をもって生活する				
	思考力・判断力・表現力等の基礎	考えたり、試したりして友達と遊ぶことを楽しむ			好奇心や探究心をもって身近な事象に自分から関わる			目的に向かって、実現するための方法を考えて工夫して遊ぶ							
	学びに向かう力・人間性等	友達と体験を積み重ね、物事にじっくり取り組む						友達と共に遊ぶ良さを味わい、関わりを広げる			友達と意欲的に遊びに取り組み、協力してやり遂げる楽しさを味わう				
育 み た い 資 質 ・ 能 力	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	(健康) 健康な心と体 (思考) 思考力の芽生え			(自立) 自立心 (自然) 自然との関わり・生命尊重			(協同) 協同性 (数量) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚			(道徳) 道徳性・規範意識の芽生え (言葉) 言葉による伝え合い			(社会) 社会生活との関わり (表現) 豊かな感性と表現	
	知識及び技能の基礎	身の回り整える必要性が分かり進んで行おうとする (クラス開き・帰りのひととき)						安全を考え自分なりに判断し状況に応じた行動をする (避難訓練・交通安全教室・園外保育)			時間や活動を意識しながら見通しをもって生活を進める (給食・日々の遊び・45分の活動や遊び)				
		様々な身体の動きを楽しみながら積極的に身体を動かして遊ぶ (ダンスごっこ・リズム運動)						きまりの必要性がわかり守ったり考え合ったりする (集団遊び・リレー・ドッジボール・楽器遊び・ルールのある遊び)							
		して良いこと悪いことをじぶんで考えて行動しようとする (日々の遊び・生活・給食・帰りのひととき)									自分の気持ちに折り合いをつけながら遊びや生活を進める (集団遊び・劇遊び・正月遊び・卒園に向けての生活)				
	思考力・判断力・表現力等の基礎							いろいろな人と触れ合いかわることで地域に親しみをもつ (園外保育・他園児との交流・一年生との交流)						場や状況を考えて行動しようとする (日々の遊び・生活・帰りのひととき)	
身近な事象に自分から関わり好奇心や探究心をもつ (草花遊び・小動物や自然とのかかわり)			様々な関わりを通して遊びを深めようとする(予想・試す・確認・振り返り等) (砂遊び・泥遊び・シャボン玉遊び・廃材遊び・制作遊び・栽培物とのかかわり・秋の自然物を使った遊び)			様々な物に触れながら物の特性を知ったり活かしたりして遊びを楽しむ (秋の自然物を使った遊び・冬の自然に触れる遊び)									
生活の中にある図形や数量等に触れたり親しんだりして興味・関心を高める (色水遊び・シャボン玉遊び・砂泥遊び・廃材遊び)						身近にある文字や数などに興味・関心をもち、生活に取り入れようとする (ごっこ遊び・正月遊び[かるた・トランプ・すごろく]卒園に向けてのアルバム作り)			友達と相談しながら工夫し合って表現する過程を楽しむ (劇遊び・絵画表現遊び・楽器遊び)						
			感じたことや考えたことを様々な方法で表す楽しさがわかる (日々の遊び・帰りのひととき)						友達の考えや体験を活かして自分の考えを広げ楽しむ (日々の遊び・帰りのひととき)						
学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等		興味や関心をもって試行錯誤しながら遊ぶ楽しさを感じる (砂・色水遊び・泥遊び・シャボン玉遊び・小動物との触れ合い・廃材遊び・制作遊び・栽培物の世						様々なことに繰り返し取り組み、やり遂げる達成感を味わう			自分が得意とすることに気付き自信をもって行動する (卒園までの生活・1年の振り返り)				
		身近な動植物に触れながら命の大切さを感じる (小動物の世話・夏野菜の世話・夏野菜の収穫)						周囲の自然に触れ不思議に感じたことを試したり調べたりして関心を高める (園外保育・遠足・自然物を使った遊び)							
		絵本や物語に親しみ、言葉のもつ意味やおもしろさなどに気付く (絵本貸し出し・職員・保護者による絵本の読み聞かせ)						自分の思いや考えを相手に分かるように言葉を考えて伝える (帰りのひとときでのふりかえり・劇遊び)			相手の話を注意して聞き理解して行動する (卒園式にむけての生活)				
		友達と役割を受け持って活動することを楽しむ (砂遊び・泥遊び・当番・係活動)						友達と共通の目的に向かって力を合わせて取り組む (運動会に向けての生活・秋の自然物を使った遊び・劇遊び)			互いの思いや考えを調整して友達と遊びを進める楽しさを知る (正月遊び・ドッジボール・集団遊び)				
幼小連携活動			保幼小連絡会					交流 (運動会の見学)	交流 (秋の活動) 就学児健康診断		交流 (学校探検・給食参観)	保幼小連絡会 入学説明会			
<学園重点> 聞く指導		会話を楽しみ、話を聞く楽しさを感じる。					話の内容に興味関心をもち、話を聞こうとする。					話を最後まで聞く。			
家庭との連携		・進級に対する不安への対応を図る。(アプローチカリキュラムを知らせる。) ・年長として生活における1年間の見通し。			・自分の力で生活を進める大切さを伝え、励ます、見守りなどの連携を図る。 ・子ども同士間で起こった出来事については丁寧に知らせ、関わりの中の学びを知らせ、理解につなげる。			・遊びを通して様々な意欲が引き出されることを伝える。 ・友達との活動を通して協同性が育まれ小学校生活や学習の基盤となることを伝えていく。					・就学に向けて生活習慣を園と家庭で見直し、身に付けていく生活を促す。 ・入学に向けて不安や疑問を解消できるようにする。(スタートカリキュラムを知らせる。)		
指導上の 配慮事項	☆環境構成の工夫	☆やってみたい気持ちが実現していくような環境を構成する。 ☆文字や数字、記号など生活の中で身近に感じられるようにする。(当番表・片付け明示・誕生表等)			☆自分たちで考え、やってみたいと思えるような場を多く設定しその中で自分の力を十分発揮できるようにする。 ☆不思議に感じたことを共感し、調べて分かる楽しさを感じられる場をつくる。(図鑑や絵本等)			☆子どもの挑戦しようとする気持ちを受け止めた環境を構成する。 ☆グループでの取り組みの中で、一人一人が自己を発揮し、互いの良さや考えにふれて、協同して遊べるような機会を意図的に設ける。 ☆少し難しいことに向き合い、友達と一緒に工夫して乗り越えていく場をつくっていく。					☆一人一人が興味をもって、週や1日の見通しを分かって行動できるような表示を工夫する。 ☆一緒に力を合わせて取り組んできたことや目的が達成されたことへの喜びが味わえるような生活をつくる。		
	○保育者のかかわり	○進級した喜びを十分に味わわせ、自信をもって行動できるようにする。 ○生活の中で気付いたことをきっかけとして、自分たちで約束等をつくり出せるようにする。			○子どもの知っている知識や情報を活かし、関心を継続できるようにする。 ○子ども同士の意見のぶつかり合いや葛藤を大切にしてい。自分で乗り越えられるように見守ったり気持ちを支えたりする。			○目的が明確にもてるようにする。一人一人の頑張りをクラスの子どもに知らせ、良さに気付かせたり頑張りを喜び合ったりする。 ○関わりの中で互いの思いを理解できるように相手の言葉や表情、行動に関心を向けられるようにする。					○自分たちで生活を進めている充実感を味わえるようにする。 ○共通の目的に向かって意見や考えがまとまる楽しさが実感できるようにする。		

袋井あやぐも学園

幼保小の架け橋期のカリキュラム

学園教育目標：夢を追い続ける子供の育成

スタートカリキュラム（1年生）																																											
月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月																			
ステージ		Ⅴ						Ⅵ						Ⅶ						Ⅷ																							
育 っ て ほ し い 姿	知識及び技能	小学校の生活のルールや学習の仕方を理解し、楽しく生活する						生活のリズムを身につけ、見通しをもって学習や活動に取り組む						様々な活動や人々に関心を持ち、関わることのよさや楽しさが分かる						大きくなったこと、できるようになったことなど、自分の成長に気付く																							
	思考力・判断力・表現力等	小学校の学習や活動に取り組む中で、気付いたことを発表する						友達と考えや気持ちを話し合ったり聞き合ったりする						自分の思いを話したり書いたりして表現する						考えや気持ちを多様な方法で伝え合ったり、振り返ったりする																							
	学びに向かう力・人間性等	自分でできることや新たな活動に、進んで取り組もうとする						学習や生活の目標に向かって、進んで自分の力を発揮しようとする						友達と互いに励まし合いながら、主体的に学習や活動に取り組もうとする						成長を確認し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする																							
単 元 構 成	【せい か つ タ イ ム】 学 活 ・ 道 徳 中 心	がっこうをしよう(学) ・支度をしよう ・給食を食べよう ・教室やトイレの使い方を覚えよう ・みんないっしょ(道) たのしくすごそう(裁)						きまりをまもろう(学) ・時計を見て動こう ・掃除をやろう ・係を作ろう ・あいさつをするときもちがよいのは？ ・がっこうにはね…(道)						あんぜんにすごそう(学) ・雨の日の過ごし方を考えよう ・水の事故に気をつけよう ・歯を大切にしよう ・読書をしよう ・きをつけてがっこうのものは？(道) ・ぼくのアサガオ(道)						運動会(行)						6年生ありがとうの会(行) ・もうすぐ2年生(道)																	
	【な か よ し タ イ ム】 生 活 科 中 心	がっこうだいすき(生) ・はじめましてきょうしつ② ・はじめましてともだち③ ・はじめましてがっこう③ ・ともだちとがっこうをたんけんしよう③ ・おはなしききたいな② ・なんていおうかな② ・かくことたのしいな① ・どうぞよろしく③ ・こんなものをみつけたよ② ・うたにあわせてあいうえお②(国)						がっこうだいすき(生) ・がっこうにいるひととなかよくなる④ ・がっこうでみつけたことをつたえよう③ ・みんなであつうがくろをあるこう② ・よくきいて、はなそう① ・としょかんへいこう②(国) ・いくつといくつ(算) ・かずにかずえよう ・すうじをかこう ・おおきさをくらべよう(算)						はなをさかせよう(生) ・たねをまこう② ・はなをそだてよう① なつがやってきた(生) ・こうていでなつをさがそう② ・こうえんでなつをさがそう③ ・みずであそぼう② ・なつのことをつたえよう① ・わけをはなそう②(国) ・こんなことがあったよ⑥ ・としょかんとなかよし②(国) ・あわせていくつのこりはいくつ(算) ・10よりおおきいかず(算) ・水遊び(体) ・せんせいあおね(図) ・すなやつちとなかよし(図) ・カラフルいろみず(図)						いきものとなかよし(生) ・むしをさがそう③ ・むしとなかよくなる③ はなをさかせよう(生) ・たねをとろう③ たのしいあきいっぱい(生) ・こうていであきをさがそう③ ・はっぱやみであそぼう③ ・あきのおもちゃをつくろう⑦ ・こうえんであきをさがそう③ ・あきのことをつたえよう① ・いっしょにあそぼう④						じぶんでできるよ(生) ・いえでのせいかつをみつめよう③ ・じぶんでできることをしよう⑥ ・これからもつづけよう ふゆをたのしもう(生) ・こうていでふゆをさがそう② ・こうえんでふゆをさがそう③ ・そとであそぼう③ ・きせつのことをつたえよう もうすぐ2ねんせい(生) ・あたらしい1年生をしようたいしよう⑥ ・しょうたいしたことをはなしあおう② ・1年かんとふりかえろう③ ・おおきくなったじぶんをみつめよう③						・はこでつくったよ(図) ・なわとび遊び(体)						・いいこといっぱい、1年生⑩(国)					
	【ま な び タ イ ム】 教 科 中 心																																										
幼小連携活動		・幼保小連絡会 (授業参観・情報交換)						○園児のプール体験						・就学前教育会議 (振り返り個票)						○園児の運動会練習 見学 ・就学時健診						○園児の給食見学 ○秋のおもちゃらんど(園児との交流学習)						・入学説明会 ○園児体験入学 ・幼保小連絡会 (情報交換・学級編制)											
<学園重点> 聞く指導		話を最後まで聞く										話をしている人の方を向いて聞く										反応しながら話を聞く																					
家庭との連携		【参観会・懇談会】 学校生活スタートの様子 【学年便り】 学習予定や児童の様子 【保護者面談】 児童についての情報共有						【参観会・懇談会】 学校生活に慣れてきた様子 【学年便り】 学習予定や持ち物、家庭学習の方法 【保護者面談】 1学期の様子についての情報共有						【参観会・懇談会】 小学校生活を楽しむ様子 【学年便り】 学習予定や学校行事、家庭学習の方法 【保護者面談】 2学期の様子についての情報共有						【参観会・懇談会】 1年間の成長の様子 【学年便り】 学習予定や学校行事、2年生に向けて																							
指導上の 配慮事項		【柔軟な授業時間】 15分単位の短い学習や2時間続きの活動を取り入れ、次第に45分間の学習時間に慣れていけるようにする。 【自由遊び】 各園での幼児教育の様子や実態を生かし、児童が親しんできた生活リズムに配慮する。 【人間関係づくり】 出身園から少人数で入学した児童が安心して生活できるように活動を工夫する。 【カリキュラムマネジメント】 生活科の学習を中心に、国語科・算数科・音楽科・図工科などの各教科を総合的に関連づけ、互いの学習で得た学びを生かす。 【教師の支援】 すぐにやり方を教えたり説明したりするのではなく、児童に「園ではどうしていたのか」「どうすればいいのか」を尋ね、経験を生かせるようにする。						【学習と生活の関連】 児童の関心や疑問を大切に学習課題を設定する。 【体験的な学習】 体験的な活動や半具体物操作などを取り入れ、児童の経験を生かす。 【振り返り】 活動後に振り返りの時間を確保し、次の活動に生かす。						【行事活動】 運動会や交流会などの取組を通して、達成感を味わい自信を持つ。 【園児との交流活動】 自分たちが経験したことを生かして、園児に喜んでもらうための活動を考え、実行する。 【学習サイクル】 学習課題の確認、自分で考える、ペア・グループ・全体交流、まとめと振り返りを定着させる。						【1年間の振り返り】 1年間の自分の成長に気づき、自分のよさを実感できるように、児童の作品やカード、写真などを用意する。 【感謝活動】 自分たちの成長を支えてくれた6年生や見守り・学習のボランティアの方への感謝の気持ちを伝える活動を行う。 【次年度の準備】 新1年生を迎える準備を通して、進級への喜びや自覚を持つ。																							

ア プ ロ ー チ カ リ キ ュ ラ ム (5歳児)																							
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月										
ステージ		Ⅰ			Ⅱ			Ⅲ			Ⅳ												
幼児の発達		新しい環境の中で自分たちなりに遊びや生活を進めていこうとする時期			友達とのつながりを深め思いを伝えながら遊びを進める時期			共通の目的に向かって試行錯誤したり協力したりしながら活動に取り組み達成感を味わう時期			自分たちで遊びや生活を進める中で、互いの良さを生かし合い充実感を味わう時期												
育て て ほ い し い 幼 児 の 姿 (ね ら い)	知識及び技能の基礎	年長になった喜びと意欲をもって生活する			気持ちよく生活するために必要なことに気付き、自分で取り組む						就学に期待をもち、自信をもって生活する												
	思考力・判断力・表現力等の基礎	考えたり、試したりして友達と遊ぶことを楽しむ			好奇心や探究心をもって身近な事象に自分から関わる			目的に向かって、実現するための方法を考えて工夫して遊ぶ															
	学びに向かう力・人間性等	友達と体験を積み重ね、物事にじっくり取り組む						友達と共に遊ぶ良さを味わい、関わりを広げる			友達と意欲的に遊びに取り組み、協力してやり遂げる楽しさを味わう												
主な活動		進級・新しい生活の始まり			運動あそびを通して			表現活動を通して			卒園に向けて												
連		泥・水遊び・プール遊び 〔保幼小連絡会〕〔交流(プール)〕			自然に触れて 〔交流(秋ランド)〕			正月遊び 〔交流(学校探検)〕〔保幼小連絡会〕															
4つの承認・あいさつ																							
子どもに 経験させたい内容	知識及び技能の基礎	①健康な心と体	進級した喜びを感じ、新しい生活に意欲的に取り組む (知)①②③④			水の怖さを知り、安全を考えて楽しく遊ぶ (知)①②③④⑤⑥			いろいろな遊びの中で十分に体を動かす (知)①④⑦⑧⑩			園外保育などの経験を通し公共の場でのマナーを学ぶ (知)①②③④⑤⑧			友だちと力を合わせて取り組むためにそれぞれの役割を果たす(知/学) ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩			かるたやすごろくで遊び、数や文字に興味や関心を持つ (知/学)②⑥⑧⑨⑩			自分の事は自分で行い、小学校への憧れを持って生活ができる (知/思)①②③④⑤		
		②道徳性・規範意識の芽生え	身の回りを整える必要性がわかり、自分でできることは自分です (知)①②③④			繰り返し遊び込む中で、水や泥の特徴を感じ取り、遊びを深める (思/学)④⑤⑥⑦⑧⑨⑩			力を合わせたり、競い合ったりすることで、友だちの良さに気づく (学)②③⑦⑧			秋の自然に関心をもち、取り入れて遊ぶ (思/学)⑧⑨⑩			やってみたいと思ったことに進んで取り組む (知/思/学)			新しい気付きを取り入れて自分たちなりのルールを作り、遊びを発展させて楽しむ (知/学)⑤⑥⑦⑧			自分の考えを伝えたり相手の話を注意して聞いたりし、気持ちに折り合いをつけながら生活しようとする (思/学)⑥⑦⑧⑨		
		③社会生活との関わり	身近な事象に関心をもち取り入れて遊ぶ (思/学)⑤⑧⑨⑩			きまりの大切さに気づき守ろうとする (知)①②③④			共通の目的に向かい、互いの思いや考えを伝えながら遊びを進める楽しさを知る (思/学)⑥⑦⑧⑨⑩			友だちと共通の目的に向かい遊びを深め楽しむ (思/学)②⑤⑥⑦⑧⑩			したいこと・してほしいことを言葉で表現し、考えのまとまる楽しさを実感する			感じたこと・考えたことを様々な方法で表す楽しさがわかる (思/学)④⑥⑦⑧⑩			自分の生活に関係の深い人に感謝の気持ちを持つ (思/学)①②⑤⑥⑩		
		④自立心	友だちと楽しく生活する中で共通の目的を見出し、工夫したり協力したりする			友だちと相談し合って遊びを考えて楽しむ (学)⑤⑥⑦⑧⑩																	
	思考力・判断力・表現力等の基礎	⑤自然との関わり・生命尊重																					
		⑥言葉による伝え合い																					
		⑦協同性																					
		⑧思考力の芽生え																					
		力学びに人間性か等う	⑨数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚																				
			⑩豊かな感性と表現																				
指導上の配慮事項	☆環境構成の工夫	☆やってみよう気持ちが実現していくような環境を構成する。 ☆文字や数字、記号など生活の中で身近に感じられるようにする。(当番表・片付け明示・誕生表等) ○進級した喜びを十分に味わわせ、自信をもって行動できるようにする。 ○生活の中で気付いたことをきっかけとして、自分たちで約束等をつくり出せるようにする。			☆○自分たちで考え、やってみようと思えるような場を多く設定しその中で自分の力を十分発揮できるようにする。 ☆不思議に感じたことを共感し、調べて分かる楽しさを感じられる場をつくる。(図鑑や絵本等) ○子どもの知っている知識や情報を活かし、関心を継続できるようにする。 ○子ども同士の意見のぶつかり合いや葛藤を大切にしてい。自分で乗り越えられるように見守ったり気持ちを支えたりする。			☆子どもの挑戦しようとする気持ちを受け止めた環境を構成する。 ☆グループでの取り組みの中で、一人一人が自己を発揮し、互いの良さや考えにふれて、協同して遊べるような機会を意図的に設ける。 ☆少し難しいことに向き合い、友達と一緒に工夫して乗り越えていく場をつくっていく。 ○目的が明確にもてるようにする。一人一人の頑張りをクラスの子どもの知らせ、良さに気付かせたり頑張りを喜び合ったりする。 ○関わりの中で互いの思いを理解できるように相手の言葉や表情、行動に関心を向けられるようにする。			☆一人一人が興味をもって、週や1日の見通しを分かって行動できるような表示を工夫する。 ☆一緒に力を合わせて取り組んできたことや目的が達成されたことへの喜びが味わえるような生活をつくる。 ○自分たちで生活を進めている充実感を味わえるようにする。 ○共通の目的に向かって意見や考えがまとまる楽しさが実感できるようにする。												
	○保育者のかかわり																						
家庭との連携		・進級に対する不安への対応を図る ・年長として生活における1年間の見通しを知らせる			・自分の力で生活を進める大切さを伝え、励ます、見守るなどの連携を図る。 ・子ども同士間で起こった出来事については丁寧に知らせ、関わりの中での学びを知らせ、理解につなげる。			・遊びを通して様々な意欲が引き出されることを伝える。 ・友達との活動を通して協同性が育まれ小学校生活や学習の基盤となることを伝えていく。			・就学に向けて生活習慣を園と家庭で見直し、身に付けていく生活を促す。 ・入学に向けて不安や疑問を解消できるようにする。												
連		メディアについて考える日						就学時健診 メディアについて考える日			入学説明会 メディアについて考える日												

南の丘学園 幼保小の架け橋期のカリキュラム 学園教育目標:「夢に向かい 自分らしさを生かして とともに輝く子」の育成

スタートカリキュラム													
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ステージ		Ⅴ			Ⅵ			Ⅶ			Ⅷ		
育てほしい児童の姿(ねらい)	知識及び技能	小学校の生活のルールや学習の仕方を理解し、楽しく生活する			生活のリズムを身につけ、見通しをもって学習や活動に取り組む			様々な活動や人々に関心をもち、関わることのよさや楽しさが分かる			大きくなったこと、できるようになったことなど、自分の成長に気付く		
	思考力・判断力・表現力等	小学校の学習や活動に取り組む中で、気付いたことを発表する			友達と考えや気持ちを話し合ったり聞き合ったりする			自分の思いを話したり書いたりして表現する			考えや気持ちを多様な方法で伝え合ったり、振り返ったりする		
	学びに向かう力・人間性等	自分でできることや新たな活動に、進んで取り組もうとする			学習や生活の目標に向かって、進んで自分の力を発揮しようとする			友達と互いに励まし合いながら、主体的に学習や活動に取り組もうとする			成長を確認し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする		
主な活動		入学式・1年生を迎える会・縦割り出合い			リレー大会			運動会練習・運動会			音楽発表会		
連携活動		〔交流(学校探)〕〔交流(秋ランド)〕			〔交流(学校探)〕〔交流(秋ランド)〕			〔交流(学校探)〕〔交流(秋ランド)〕			〔交流(学校探)〕〔交流(秋ランド)〕		
4つの承認・あいさつ													
知識及び技能	健康と体力・心	がっこうだいすき(生) ・身の回りの整理整頓やみんなですべきことを確実にやる。 ・楽しい給食(学) ・避難の仕方を知ろう(学) ・学校大好き(道) ・気持ちのよい生活(道) ・教室やトイレの使い方を覚えよう(裁)			学校のきまりを知ろう(学)・学校山であそぼう(生) ・そうじのしかた(学) ・雨の日のすごしかた(学) ・係をきめよう(学) ・よいこととわるいこと(道)・どうしてこうなるのかな(道) ・あかるいあいさつ(道)			自分のできることをしよう ・自分でもできることをしよう ・これからも続けよう			今年をめあて 係をきめよう		
	規範・道徳・性・意識	学校のきまりを知り、守って生活する。			学校のきまりを知り、守って生活する。			自分でもできることをしよう ・自分でもできることをしよう ・これからも続けよう			今年をめあて 係をきめよう		
	社会生活	場に応じた挨拶をしたり、いろいろな人に挨拶をしたりする。			学校のきまりを知り、守って生活する。			自分でもできることをしよう ・自分でもできることをしよう ・これからも続けよう			今年をめあて 係をきめよう		
	自立心	日課を知り、それに合わせて自分のことは自分で行う。			学校のきまりを知り、守って生活する。			自分でもできることをしよう ・自分でもできることをしよう ・これからも続けよう			今年をめあて 係をきめよう		
	自然生命	いろいろな活動や、友達とかかわりを通して、のびのびと生活する。			学校のきまりを知り、守って生活する。			自分でもできることをしよう ・自分でもできることをしよう ・これからも続けよう			今年をめあて 係をきめよう		
単元構成	判断力・表現力等	友達や先生に、自分の気持ちや言いたいことを伝える。			学校のきまりを知り、守って生活する。			自分でもできることをしよう ・自分でもできることをしよう ・これからも続けよう			今年をめあて 係をきめよう		
	思考力	友達と協力して一緒に活動する楽しさを味わう。			学校のきまりを知り、守って生活する。			自分でもできることをしよう ・自分でもできることをしよう ・これからも続けよう			今年をめあて 係をきめよう		
	協同性	友達と協力して一緒に活動する楽しさを味わう。			学校のきまりを知り、守って生活する。			自分でもできることをしよう ・自分でもできることをしよう ・これからも続けよう			今年をめあて 係をきめよう		
	思考力	学習課題を解決するために、いろいろな方法を試したり、考えたことを友達と伝え合ったりする。			学校のきまりを知り、守って生活する。			自分でもできることをしよう ・自分でもできることをしよう ・これからも続けよう			今年をめあて 係をきめよう		
	感性・表現	自然や人とかかわりを通して、心が動かされたことを絵や言葉で表現し、友達と伝え合う。			学校のきまりを知り、守って生活する。			自分でもできることをしよう ・自分でもできることをしよう ・これからも続けよう			今年をめあて 係をきめよう		
指導上の配慮事項		・15分単位の短い時間(モジュール)や2時間続きの活動を取り入れ、次第に45分間の学習時間に慣れていけるように、柔軟な時間設定を行う。 ・各園での幼児教育の様子や実態を生かし、児童が親しんできた生活リズムに配慮し、自由遊びができる「裁量の時間」を確保する。 ・生活科の学習を中心に、国語科・算数科・音楽科・図工科などの各教科を合科的に関連づけた学習を進め、互いの学習で得た学びが生かされる活動を計画する。 ・生活科の学習については、物的環境への対応、人的環境への適応などに配慮する。出身園から少人数で入学した児童が安心して生活できるように「ともだちをふやそう」の活動を工夫する。 ・指導者がすぐにやり方を教えたり説明したりするのではなく、児童に「園ではどうしていたのか」「どうすればいいのか」を尋ねて話させ、経験を生かせば新たな活動や学びも安心してできることを実感させる。 ・各学年の児童や教職員が、1年生の学習活動に興味・関心をもったり関わったりすることで、学校全体で1年生を見守っていく体制をつくる。 ・日課やきまりについて、文字、絵、写真などで視覚に訴える掲示物を工夫することで、新しい環境に早く適応できるようにする。			・挨拶や声かけを大切にし、習慣化させることで、進んで友達と関わる学級づくりをすすめていく。 ・係や当番活動などの学級の仕事を任せ、よい表れを認め、次への意欲を高める。 ・児童の関心や疑問を大切に学習課題を設定し、学習活動に臨ませる。 ・各教科の学習では、体験的な活動や半具体物操作などを取り入れることで、児童の経験を生かした分かりやすい授業で、学習意欲を高める。 ・活動後にはふり返りの時間を確保する。			・運動会や交流会などの行事への取組をととして、達成感を味わわせ自信を持たせる。 ・園児との交流活動では、自分たちが経験したことを生かして、園児に喜んでもらうための活動を考え、実行できるように励ます。 ・「学習課題の確認」「自分で考える」「ペアやグループ、クラス全体での交流」「まとめとふりかえり」という学習サイクルを身につける。 ・課題解決を助ける思考ツールを段階的に取り入れる。 ・ICTに触れ、学習への活用ができるように準備を始める。			・児童が1年間の自分の成長に気づき、自分のよさを実感できるように、児童の作品やカード、写真などを用意する。 ・自分たちの成長を支えてくれた6年生や見守り・学習のボランティアへの感謝の気持ちを伝える活動を考えさせる。 ・新1年生を迎える準備をととして、進級への喜びや自覚をもたせる。 ・「くらべる」「ならべる」「りゆう・わけ」「分ける」などの思考スキルを身につけて自分の考えを深めさせる。 ・ICTを使った学習ができるようになり、家庭学習でも活用ができるようにする。		
家庭との連携		・授業参観では、スタートカリキュラムによる学び・生活の様子を見てもらう。 ・1週間ごとに学年通信で学習の予定や児童の様子を伝え、保護者が学校生活の見通しを持ち、安心できるようにする。 ・家庭訪問や個別面談などで、保護者の願いを聞いたり児童の様子を伝えたりする。			・家庭学習のねらいや方法について学年通信や懇談会等で丁寧に伝え、見届けや励ましへの協力を依頼する。			・学習や生活面、行事での児童の様子やがんばりを家庭学習カードや学年通信で伝え、家庭でもしっかり褒めてもらうようにする。 ・自分でできる仕事を見つけ、継続してお手伝いに取り組めるように協力をお願いする。			・懇談会等で児童の成長を伝え、家庭でもしっかり褒めてもらう。 ・持ち帰った学習の成果物を見て、賞賛の言葉をかけてもらう。		
連携活動		メディアについて考える日			メディアについて考える日			メディアについて考える日			メディアについて考える日		

浅羽学園 幼保小の架け橋期のカリキュラム 学園教育目標:「こころざしをもち、共によりよく生き抜くたくましい子」の育成

【健安】【生活】【特活】【学習】は、浅羽学園教科外カリキュラムの「発達段階における子どもの姿」との繋がりを示しています。

ア プ ロ ー チ カ リ キ ュ ラ ム （ 5 歳 児 ）														
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ステージ		Ⅰ		Ⅱ			Ⅲ				Ⅳ			
育 幼 児 の ほ 姿 し い	知識及び技能の基礎	年長になった喜びと意欲をもって生活する		気持ちよく生活するために必要なことに気付き、自分で取り組む							就学に期待をもち、自信をもって生活する			
	思考力・判断力・表現力等の基礎	考えたり、試したりして友達と遊ぶことを楽しむ		好奇心や探究心をもって身近な事象に自分から関わる			目的に向かって、実現するための方法を考えて工夫して遊ぶ							
	学びに向かう力・人間性等	友達と体験を積み重ね、物事にじっくり取り組む			友達と共に遊ぶ良さを味わい、関わりを広げる				友達と意欲的に遊びに取り組み、協力してやり遂げる楽しさを味わう					
育 み た い 資 質 ・ 能 力	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	（健康）健康な心と体 （思考）思考力の芽生え		（自立）自立心 （自然）自然との関わり・生命尊重		（協同）協同性 （数量）数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		（道徳）道徳性・規範意識の芽生え （言葉）言葉による伝え合い		（社会）社会生活との関わり （表現）豊かな感性と表現				
	知識及び技能の基礎	・相手の立場に立って、考えて行動する。（道徳・社会）		・積極的に身体を動かし、様々な活動に取り組む。（健康・自立） ・きまりの必要性が分かり、守ったり考え合ったりする。（自立・道徳・社会） ・絵本や物語に親しみ、言葉のもつ意味やおもしろさなどに気付く。（言葉）							・時間や活動を意識しながら見通しをもって生活を進める。（健康・自立・道徳・社会） ・自分のよさに気付き、自信をもって行動する。（自立） 小学生との交流を通して小学校について知り、就学に希望をもつ。（社会）【特活】			
		異年齢や他園の年長児、小学生と触れ合う中で、人との関わり合い方を知る。（社会）【生活】												
		身の回りを整える必要性が分かり進んで行おうとする。（健康）【生活】		様々な体の動きを楽しみながら積極的に身体を動かして遊ぶ。（健康）【健安】							自分がしなければいけないことを意識しながら行動する。（自立）【生活】			
	体や健康に関心をもち、大切にするために必要なことをしようとする。（健康）【健安】													
思考力・判断力・表現力等の基礎	・身近な事象に積極的に関わり、自ら気付いたり発見を楽しんだりする。（思考・自然・数量） ・自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いや考えを聞いたりする。（思考・言葉）		・感じたことや考えたことを様々な方法で表現することを楽しむ。（表現・言葉・思考） ・予想をしたり確かめたりして事象への関わりを楽しむ。（思考・自然・数量・表現）				・共通の目的に向かって考え、工夫したり協力したりする。（協同・思考・言葉） ・自分の体験や友達の考えを生かして、自分の考えを広げて楽しむ。（思考・言葉） ・自分の思いや考えを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の話を理解して行動したりする。（言葉・表現・思考・自立） ・友達と相談しながら工夫し合って表現する過程を楽しむ。（表現・言葉・協同・思考）							
	興味や関心をもって試行錯誤しながら遊ぶ楽しさを感じる。（思考）【学習】						自分の思いや考えを相手に分かるように、言葉を考えて伝えようとする。（言葉）【特活】							
学びに向かう力・人間性等	・興味や関心をもって試行錯誤しながら遊びを楽しむ。（自立・思考） ・身近な動植物に触れ、命を大切にしようとする。（自然・道徳） ・生活の中にある図形や数量に触れたり親しんだりして、興味・関心を高める。（数量・思考） ・友達との関わりの中で、役割を受け持って遊ぶことを楽しむ。（協同）							・様々なことに繰り返し取り組み、諦めずにやり遂げる達成感を味わう。（自立） ・いろいろな人と触れ合い関わる中で、地域の人に親しみをもつ。（社会） ・身近な自然に触れ、不思議に感じたことを試したり調べたりして関心を高める。（自然・思考・表現）				・互いの思いや考えを認め合い、友達と遊びを進めることを楽しむ。（協同・言葉・社会） ・場や状況を考えて行動しようとする。（社会・道徳） ・身近にある文字や数などに興味・関心をもち、生活に取り入れようとする。（数量） 自分の気持ちに折り合いを付けながら生活を進める。（道徳）【特活】		
指導上の配慮事項 （赤の文字は学園の「任せて認める指導」との関連）	・やってみたい気持ちが実現していくような環境づくりをする。 ・文字や数字、記号など生活の中で身近に感じられるようにする。（当番表・片付け等明示・誕生表等） ・進級した喜びを十分に味わわせ自分から行動できるようにする。			・自分たちで考え、やってみようと思えるような場を多く設定し、その中で自分の力を十分発揮できるようにする。 ・不思議に感じたことへの共感、調べて分かる楽しさが感じられるようにする。 ・子ども同士の意見のぶつかり合いや葛藤を大切にしてい。自分で乗り越えられるように見守ったり、気持ちを支えたりする。 ・遊びを通して様々な意欲が引き出されることや、子どもが関心や疑問に思ったことを家庭でも一緒に考えたり遊んだりできるよう保護者に伝える。				・子どもの挑戦しようとする気持ちを受け止めた環境を構成する。 ・互いの良さや考えにふれて、協同して遊べるような機会を意図的に設定する。 ・少し難しいことに向き合い、友達と工夫して乗り越えていく場づくりをする。 ・目的が明確にもてるように関わる。 ・一人一人の頑張りを認め、クラスの子どもに知らせることで、よさに気付かせたり、頑張りを喜び合ったりする。 ・関わりの中で互いの思いを理解できるように、相手の言葉や表情、行動に関心を向けられるようする。				・一人一人が興味をもって、週や一日の見通しを分かって行動できるような表示の工夫をする。 ・友達と一緒に力を合わせて取り組んできたことや、目的が達成されたことへの喜びが味わえるような生活づくりをする。 ・自分たちで生活を進めている実感や充実感を味わえるようにする。 ・共通の目的に向かって意見や考えがまとまる楽しさを実感できるようにする。		
家庭との連携 （赤の文字は「浅羽学園のひとづくり」との関連）	・進級・進学に対する不安への対応を図るため、1年間の見通しを知らせたり、面談で保護者の願いを聞いたりする。 ・接続のためのアプローチプログラムについて知らせる。 ・「浅羽学園の人づくり」を配付し、家庭での活用を促す。			・自分の力で生活を進める大切さを伝え、励ます、見守るなどの連携を図る。 ・子ども間で起こった出来事については丁寧に受け止め、関わりの中の学びを知らせ、理解につなげる。 ・遊びを通して様々な意欲が引き出されることや、子どもが関心や疑問に思ったことを家庭でも一緒に考えたり遊んだりできるよう保護者に伝える。				・友達との活動を通して協同性が育まれ、小学校生活や学習の基盤となることを伝え、協力体制を築くよう努める。 ・家庭においても自分でできる仕事を見つけ、継続してお手伝いに取り組めるように働きかける。 ・結果だけでなく、取り組む姿勢や過程を大切にすることで、子どもがよさを知り、肯定感が育まれることを保護者にも伝える。				・就学に向けて生活習慣を園と家庭で見直し、身に付けられるような生活を促す。 ・入学に向けて不安や疑問を解消できるようにする。（接続のためのスタートカリキュラムについて知らせる）		

浅羽学園 幼保小の架け橋期のカリキュラム 学園教育目標:「こころざしをもち、共によりよく生き抜くたくましい子」の育成

【健安】【生活】【特活】【学習】は、浅羽学園教科外カリキュラムの「発達段階における子どもの姿」との繋がりを示しています。

スタートカリキュラム(1年生)														
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ステージ		Ⅴ			Ⅵ			Ⅶ				Ⅷ		
育 児 童 て ほ 姿 し い	知識及び技能	小学校の生活のルールや学習の仕方を理解し、楽しく生活する			生活のリズムを身につけ、見通しをもって学習や活動に取り組む			様々な活動や人々に関心をもち、関わることのよさや楽しさが分かる				大きくなったこと、できるようになったことなど、自分の成長に気付く		
	思考力・判断力・表現力等	小学校の学習や活動に取り組む中で、気付いたことを発表する			友達と考えや気持ちを話し合ったり聞き合ったりする			自分の思いを話したり書いたりして表現する				考えや気持ちを多様な方法で伝え合ったり、振り返ったりする		
	学びに向かう力・人間性等	自分でできることや新たな活動に、進んで取り組もうとする			学習や生活の目標に向かって、進んで自分の力を発揮しようとする			友達と互いに励まし合いながら、主体的に学習や活動に取り組もうとする				成長を確認し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする		
育 成 を 目 指 す 資 質 ・ 能 力	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	(健康) 健康な心と体 (思考) 思考力の芽生え			(自立) 自立心 (自然) 自然との関わり・生命尊重			(協同) 協同性 (数量) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚				(道徳) 道徳性・規範意識の芽生え (言葉) 言葉による伝え合い		(社会) 社会生活との関わり (表現) 豊かな感性と表現
	知識及び技能	小学校の生活の流れを知り、安全に過ごす。(健康・自立)【健安】			・生活のリズムを身につけ、ルールやマナーを守って健康で安全に過ごす。(健康・自立・道徳・社会) ・係や当番活動などの学級の仕事を進んで行う。(自立・協同) ・植物の栽培を通して、生命をもっていることや成長に気付く。(自然)			めあてに向かって進んで体を動かして運動し、元気に生活する。 (健康・自立)【健安】 ・正しいと思ったことは勇気をもって行動する。(自立・道徳) ・地域の場所や自然、人々に親しみをもち、適切に接する。(社会・自然) ・自然の様子や季節の変化を知り、生活の様子が変わること気付く。(自然) ・かたかなや漢字に興味を持ち、使い方を知ったり、書いたり読んだりする。(数量)				・手洗いやうがいや丁寧に行い、病気に負けない体づくりをする。(健康・自立) ・伝え合いを通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かる。(道徳・言葉・表現) ・1年間を振り返り、できるようになったこと、役割が増えたことを実感する。(健康・自立・社会)		
		・楽しく生活するために大切なルールを理解する。(自立・道徳・社会) ・身の回りの整頓や活動の準備・片付けなどに自分から取り組む。(自立) ・ひらがなや10までの数を理解し、読んだり書いたり、数えたりする。(数量)												
		自分の気持ちに折り合いを付けながら生活を進める。(道徳)【特活】												
	思考力・判断力・表現力等	・新しい学習に興味や関心をもち、進んで考える。(思考・数量) ・分かったことや見つけたこと、感じたことを友達に伝える。(思考・言葉・表現)			・自分の思いや考えを、理由を添えて友達と伝え合う。(思考・言葉・表現) ・具体物を使って数量を比べたり、簡単なたし算・ひき算をしたりする。(思考・数量) ・見たことやしたこと、感じたことを造形等で表現し、伝え合う。(思考・表現)			・自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて伝え方を選ぶ。(思考・言葉・表現) ・「学習課題の確認」「自分で考える」「友達と交流」「まとめと振り返り」という学習サイクルで学びを深める。(思考・言葉・表現) ・伝えたいことをグループで話し合ったり文章で表現したりする。(思考・言葉・表現)				・「比べる」「並べる」「分ける」などの思考スキルを身に付けて自分の考えを深める。(自立・思考) ・数量の関係する場面を図で考え、式や言葉で表して解決する。(思考・数量・言葉) ・自分と友達の考えを比べ、賛成・反対など自分の考えをはっきりさせ、その理由を説明する。(協同・思考・言葉)		
声の大きさや速さに気を付けて、友達が聞きやすいように話す。友達の話を分かって聞く。(言葉)【生活】						友達の頑張りを認めたり、よさを見付けたりして、伝え合う。(言葉)【生活】				・新しい1年生に、様々な方法で学校のことを分かりやすく工夫しながら伝える。(協同・社会・思考・言葉・表現)				
いろいろな活動や自然との関わりを通して、気付いたことや感じたことを友達や先生に伝えようとする。(表現)【学習】			見たことやしたこと、感じたことなどを、グループで話し合ったり、文章で表現したりする。(表現)【学習】							友達と思いを伝え合うよさや楽しさが分かり、進んで思いを伝え合う。(言葉)【生活】				
学びに向かう力・人間性等	・新たな友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを味わう。(自立・協同・社会) ・友達や先生に挨拶したり、親しみをもって関わろうとする。(自立・協同・社会)			・自分のめあてを考え、達成に向けて努力をしようとする。(自立) ・音楽や図工などの表現をとおして、自分の思いを表現する喜びを味わう。(表現)			・地域で出会う様々な出来事や人に興味をもち、進んで関わろうとする。(自立・社会) ・学習や活動のめあてに向かって、友達と協力しながら活動しようとする。(自立・協同) ・学習したことや経験したことを生かして生活しようとする。(自立・数量)				・友達と意見を交わし、新しい考えや活動を協力して生み出そうとする。(自立・協同・言葉) ・家族や地域の人々、友達などに支えられて成長したことに感謝し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする。(健康・自立・社会)			
	学校生活や学習に興味・関心をもち、進んで考えようとする。(思考)【学習】													
指導上の配慮事項 (赤の文字は学園の「任せて認める指導」との関連)		・授業の中に遊びの要素を取り入れる。 ・意図的・計画的に遊びを行う時間の設定を行う。(1時間目) ・園生活の経験を活かした活動を取り入れる。			・問題や課題についてじっくり考える時間と場を設ける。 ・児童の興味や関心をもとにした学習課題の設定を行う。 ・体験的な活動や具体物操作などを取り入れ、学習意欲を高める。 ・活動後の振り返りの時間を確保する。			・協働して遊べるような機会を意図的に設定する。 ・「任せて認める」ことができるよう、活動内容を自分で考え、実行できる場を設定するとともに、失敗も含めた努力の過程を認める。 ・「学習課題」「考える」「交流」「振り返り」の学習サイクルを身に付ける。				・友達と一緒に力を合わせて取り組んできたことや、目的が達成されたことへの喜びが味わえるようにする。 ・共通の目的に向かって意見や考えがまとまる楽しさを実感できるようにする。 ・自分の成長に気付き、良さを実感できる環境づくりを行う。 ・思考スキルを活用し、自分の考えを深められるようにする。		
家庭との連携 (赤の文字は「浅羽学園のひとづくり」との関連)		・面談で1年間の見通しを知らせたり、保護者の願いを聞いたりする。 ・スタートカリキュラムの様子を見てもらう。(参観会・学年便り) ・「浅羽学園の人づくり」について懇談会で周知し、過程と連携して取り組む。			・自己肯定感を高めるために認める言葉かけを家庭に働きかける。 ・家庭学習のねらいや方法について学年通信や懇談会等で丁寧に伝え、見届けや励ましへの協力を得るよう配慮する。			・友達との活動で協同性を学ぶことが小学校生活や学習の基盤となることを伝え、協力体制を築くよう努める。 ・学習面や生活面、行事での児童の様子や頑張りを認める。 ・懇談会において、「浅羽学園の人づくり」の内容を取り入れ、さらに周知する。				・懇談会等で1年の成長を伝え、保護者に家庭での様子を聞くことで、子供の生活や学習の状況に対する共通理解をし、来年度に向けて学校と家庭が同一歩調で子供の成長を目指すことができるようにする。		